



「めんとむかって」 中祖直子 写真とことば展

— きょうだい児に贈る、親からのラブレター —



展示に込めた想い

病気や障害のある子のきょうだいは、「きょうだい児」と呼ばれています。どうしても配慮や支援が必要な子に注目が集まりやすい中で、当たり前のことですが、誰もが「誰かのきょうだい」である前に、一人ひとり、かけがえのない存在です。私には、障害のある長男と、妹の長女がいます。長男の介助に時間がかかるぶん、長女を待たせてしまうこともあります。できる限り寂しい思いをさせないように努めてきたつもりですが、きょうだい児としての本当の気持ちは、やっぱりわかりません。だから私は、願っています。この子の人生が、この子のものでありますように。あなたがあなたらしく生きていきますように。

これは、そんな長女へのラブレターのような展示です。どんなにバタバタしていても、あなたが見えています。あなたが思っています。生まれてきてくれて、ありがとう。あなたがあなたでいてくれて、ありがとう。あなたのことが、だいすきです。

— そんなふうに思う親たちの声を集めました。めんとむかって伝えられなかった想いを、写真と言葉で。

中祖直子

- 障害者週間啓発イベント -

展示期間：12/2(火)～12/12(金) ※12/9(火)は休館日

時間：10時～21時 ※最終日は13時まで

会場：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール1階ロビー
(横浜市港北区鳥山町1752)

入場無料／申込不要

中祖直子 (なかそなおこ)

横浜市在住。フォトグラファー歴18年の二児の母で、長男は最重度知的障害&肢体不自由児。「&しゃんかん」を主宰し、障害児・者の家族写真撮影を積極的に行う他、写真を通して障害への理解を広める活動にも取り組んでいる。2024、2025年度保土ヶ谷区公式Instagramフォトコンテストの審査員を務める。

